

9 少子高齢化の現状はどうなっていますか。

愛知県においても少子高齢化の傾向にあります。

本県の年齢3区分別の人口割合をみると、年少人口割合は1980年から低下し続け、2021年は12.6%となっています。

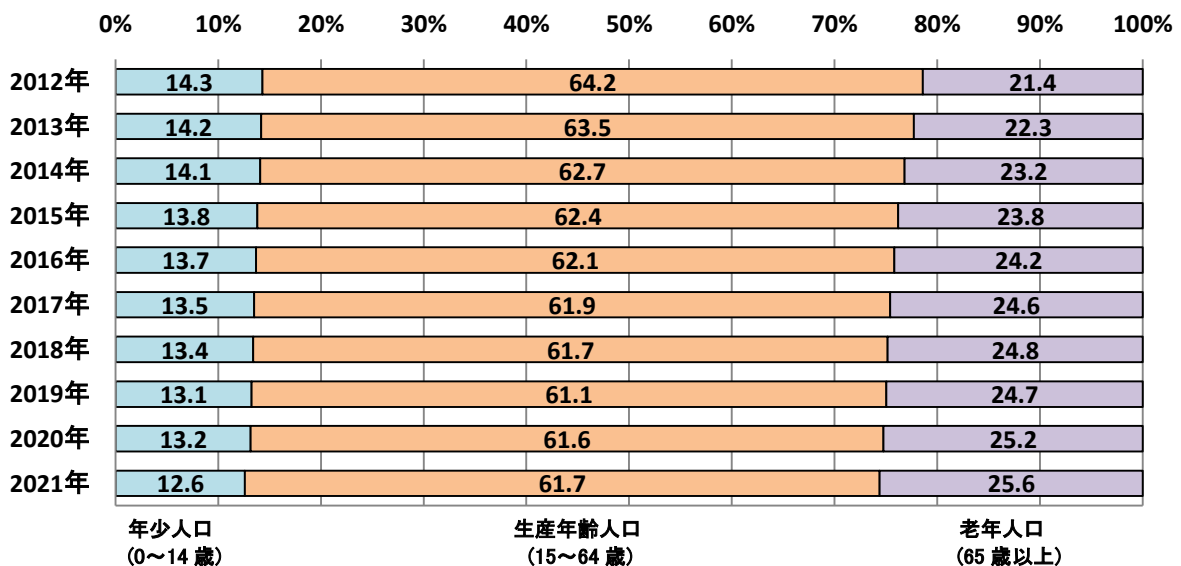
また、生産年齢人口の割合は61.7%と、前年から横ばいでした。老年人口割合は25.6%と、前年と比べ0.2ポイント上昇となり、年々高齢化が進んでいます。(図1)

また、2021年の出生数は53,918人と、前年に比べ1,695人(3.0%)減少し、一人の女性が生涯に出産する子供の数を示す合計特殊出生率は1.41と、前年から減少となりました。第2次ベビーブーム(1971~1974年)をピークに、少子化傾向が続いています。

(図2)

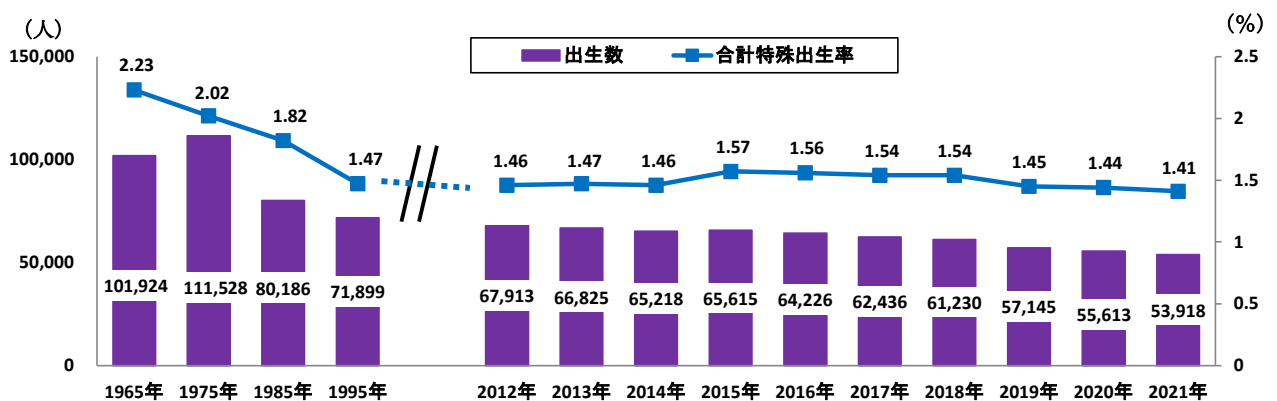
グラフでみてみよう

● 愛知県の年齢3区分人口割合の推移(%) (図1)



資料：県統計課「あいちの人口」

● 愛知県内の出生数・合計特殊出生率の推移(図2)



資料：厚生労働省「人口動態調査」